

北海道に夜間中学をつくる会

## 2011 年度第 10 回事務局会議

札幌市男女共同参画センターエルプラザ 2 階会議コーナー  
出席者（敬称略）： 工藤代表、泉事務局長、飯塚、遠藤、  
工藤（朱）、境、白倉、船木、森川

今会議から、森川さんも加わりました。

### 議題

#### 1. 総会とパネルディスカッションに向けて

##### (1) 総会議案の検討

議案 1 号 2011 年度活動報告、2 号会計報告、3 号会計監査報告、4 号 2012 年度活動方針案、5 号会計予算、6 号役員体制

##### (2) パネルディスカッション「夜間中学の未来を考える」

基調報告：草教諭、パネラー：道内各自主夜間中、コーディネーター：添田

##### (3) 印刷・発送

#### 2. 次回事務局会議

#### 3. 生活体験発表 in 釧路の実行委員会開催について

主催：釧路市

協力：釧路くるかい・北海道に夜間中学をつくる会

#### 4. その他

話し合い

## 1. (1) について

活動方針案を作成する上で、いま自主夜間中学に入学を希望する人たちは、以下のような事情からである。

- ①戦争や家庭の事情、病気などで小・中学校に行けなかった人。
- ②形の上では小・中学校を卒業していても、生活上で不便を感じていて、基礎的な勉強をもう一度したい人。
- ③現在、さまざまな理由で中学校に行っていない人。
- ④外国籍や外国出身者で日本語が良く分からず、生活上で不便を感じている人。

道内各自主夜間中の入学事情は、①が減る傾向であり、②から④の事情が漸増してきている。とりわけ、②の20歳台から30歳台の人たちが増えてきている。そのため、フリースクールとの連携・交流を行なう。また、④の人たちに向けた「日本語教室」設置の検討が進められている自主夜間中もある。

これらの事情から総会に先立つ催しとして、「夜間中学の未来を考える」パネルディスカッションを企画。またそのことで、道内自主夜間中が抱えている問題や課題を探っていく。

さらに、「北海道自主夜間中学交流会 in 釧路」でも、道内自主夜間中の活動報告（パネルディスカッション）を通じてこれらの

ことを検討していく。

全国夜間中学校研究会は、『義務教育等学習機会充実法案（仮称）』の立法、成立に向けた、超党派議員参加での国会院内の集いを計画している。

この法案は、様々な事情で学習する機会を奪われた日本人高齢者、障がい者、不登校やひきこもりの若者、中国残留孤児、在日韓国・朝鮮人、国際結婚や仕事などで来日した方やその家族、難民などに、夜間中学の開設を始め、基礎教育としての義務教育の拡充を目指すためのものである。

「北海道自主夜間中学交流会 in 札幌」を札幌市が主催するように働きかける。これまで、札幌市に要望した、自主夜間中学運営の共同事業、生涯学習への位置づけなどの延長に行なう。

一方、これは道にもあわせて働きかける。

（釧路「くるかい」が支援を受けた情報を入手する）

役員体制については、代表1名とする。そのため、規約を改正する。

## 1. (2) について

道内各自主夜間中にパネラーの要請。旭川遠友塾についても要請をし、出席をお願いする。内容の事前打合せ必要。

1. (3) について

4月21日（土）午後4時

「夜間中学の未来を考える」チラシ2000枚印刷

（札幌市区民センターに置く。近隣4市にも置く）

5月10日（木）午後4時、議案書250部印刷・発送。

2. について

5月10日（木）午後4時

3. について

5月26日（土）午後3時、実行委員会の立ち上げ。

実行委員長の選任（釧路賀根村さんに事前のお願い）

実行委員長から、各自主夜間中学に参加の要請文を発信。